

一、地名については、田辺市域を除き、()内に、現在の郡市町村名、または府県名を示した。
 一、本文中の写真・図・表は、それぞれ各章ごとに、写真1・図1・表1のように一連番号を付した。

田辺市史 第二卷 通史編Ⅱ(近世)

目次

凡例

序章 紀州藩田辺領……………一

1 近世史再考……………二
 幕府と藩／近年の潮流／徳川政治体制

2 紀州藩田辺領の史実……………八
 表領と田辺領／固有の通貨流通圏／田辺領史が語るもの

第一章 近世田辺の成立……………一七

第一節 浅野氏の支配……………一八

1 近世的支配の成立……………一八
 浅野左衛門佐の田辺入部／左衛門佐の知行所／和歌山に在府した左衛門佐／お手

伝普請と左衛門佐／公文の登用と地方支配

2 慶長検地と地方支配

浅野氏の検地／名請人と家改め／村高と村切り／年貢と荒引

3 町立てと城の移転

上野山城と城下町／洲崎城の建設と江川の町割り／湊之城の建設と城下町／
寺院の移動

4 大坂の陣と一揆

刀狩りと熊野の土豪／大坂夏の陣と日高一揆

第二節 安藤氏の支配

1 安藤帯刀家

安藤直次と徳川家康／徳川御三家の付家老／安藤家歴代当主

2 安藤直次の入部

浅野氏の芸州転封と浅野知近／徳川頼宣の紀州入国と直次／
直次の知行地と田辺与力

3 紀州本藩と田辺領

田辺領の鎖国体制／今高と上ヶ知／与力知の今高

第二章 田辺領政の確立と文化

第一節 田辺領の支配体制

1 田辺の職制

安藤家家臣団と職制／瀬戸崎番所と田辺与力／
安藤家の和歌山屋敷／安藤家の江戸屋敷

2 田辺領の地土

地土の採用と変質／田辺領の地土

3 政治的事件と田辺

島原の乱と安藤家／牧野長虎事件と田辺／松平頼雄廢嫡事件と田辺幽居

第二節 近世前期の宗教と文化

1 宗教統制と寺社

浅野氏と寺社の再興／宗門改めと寺檀制／寛文期の寺社改めと元禄期の寺社改め／
元禄期高野山人派一件と田辺領

2 文化の勃興

田辺祭／名所旧跡の把握／名産の工芸品／医師の来住

第三章 近世の町と村の形成

第一節 「田辺町」の成立

- 1 城下町田辺 一五
- 町域の拡大と「たて町」「よこ町」
- 2 行政機構 一七
- 大年寄制の確立／火消し制度の成立／町役の増加
- 3 田辺町の商業 一六
- 座の成立／地域的座／個人的座／座の再編成／田辺の座の特色／諸商人の発生／
魚商人の対立／享保十年ころの田辺城下の諸職

第二節 在方の構造

- 1 組と村 一七
- 郡奉行・代官／大庄屋と田所家／庄屋と村役人／田辺領の「ムラ」
- 2 浦方の村 一八
- 加子役から加子米へ／キリシタン船渡来と浦組／海難救助・漁場争論／他国出漁
- 3 宮 座 一九
- 近世の宮座／下三栖村の村落構造／下三栖村の宮座

第四章 田辺領政の展開

第一節 農民統制の新段階

- 1 開発の奨励と荒地の再利用 二六
- 田辺領の新田開発／農村の荒廃と農民の疲弊／荒起方の設置
- 2 在方支配機構の整備 二七
- 郡御奉行と郡御代官／二分口役所と口銀徴収／大庄屋の権限の強化／
庄屋と村役人
- 3 藩主・巡見使・門跡の来訪 二五
- 紀州藩主の瀬戸御殿来訪／巡見使の通行／聖護院・三宝院門跡と遊行上人の来訪

第二節 田辺領の法と裁判

- 1 紛争の解決と処罰 二七三
- 訴願の受理体制／調査と審理／武士の刑罰／庶民の刑罰
- 2 追放刑 二八六
- 追放刑／二十里外追放十里外追放／領分追放／田辺組・城下追放／
- 惣町中・居町追放／追放御免
- 3 経営破綻と法慣習 二九九
- 身代潰れ／「分散」執行／債務弁済責任

第三節 領主財政の動向

- 1 財政の悪化——年貢収支の動向—— 三〇六
- 寛永期の年貢／今高にみる元高の取米／元禄期の年貢
- 2 経済政策の展開 三〇六
- 蔵屋敷／国益思想／義倉講
- 3 田辺領御仕入方役所の成立 三〇六
- 表領の御仕入方／田辺領の御仕入方／表領の御仕入方との相克

第五章 産業の展開と農漁民の生活

第二節 農業生産の発展と諸職

- 1 用水と入会山 三四〇
- 山論の概要／木材需要の増加と山方御役所／用水路の維持
- 2 農産物の商品化 三五〇
- 綿 作／絞 油／梅
- 3 大工と鍛冶 三六一
- 大工仲間／鍛冶仲間／鍛冶職人伝七一件
- 4 皮革生産の展開 三七〇
- 皮田役——斃牛馬処理——／渡辺村と田辺／皮革類の積出し／
- 皮革類取引制の変遷

第二節 山村の生活と林業

- 1 三番組の村々と田辺 三六二
- 三番組／山林騒動／焼山と鉄砲／富田川の罾操業
- 2 炭・松煙の生産 三六一
- 備長炭／炭仕出し／炭屋株／松 煙

第三節 漁村の生活と海産物

1 網と船

沼島漁民の入漁／堅田浦の小鯉網との対立／網屋町への小鯉網株の譲渡

2 廻船

富田廻船／田辺領の廻船

3 海産物の流通と漁村の変化

海浜の村と漁民／浦組再編成と田辺領／干鰯商人と新しい動き／田辺湾の塩浜

第四節 自然災害と騷擾

1 津波と飢饉

宝永の津波／享保の飢饉／享保十七年の不作

2 早魃・騒動と村の変化

村小入用をめぐる問題／明和六年の大早魃と領民の疲弊／おかげまいり／領民統治と秩序の維持

第六章 田辺城下町の発展と文化の興隆

第二節 町方の変質と動揺

1 田辺町大帳と万代記・御用留の成立

田辺町大帳／万代記・御用留

2 天明の打ちこわし

明和期の凶作と農村／安永期の騒動／天明六・七年の蜂起／騒動参加者の処罰／打ちこわしを生む背景

3 公害

公害とは／町の公害／開発と公害／水車と公害

4 町方生活の明け暮れ

町方生活を知って／正月行事／盆行事／四季折々の行事／婚礼と葬儀／食品のいろいろ／旅人の通行

第二節 近世後期の文化

1 芸能興行の展開過程

芸能興行／歌舞音曲／相撲興行

2 文人群像

田辺地方の文人たち／玉置香風／田所八悟ら田辺六俳仙／松本貞休／熊代繁里と田所顕周／僧若水と平松安諦／池永寿散と鶯峰・醉古／真砂幽泉／中田熊峰と日根対山

第七章 産業の発展と新たな動向

第一節 町方と在方の対立

- 1 在方商業の発展 五五六
- 林産物／石・石灰／薦半紙／商業作物
- 2 在方商業と町方商業の対立 五五二
- 一般在方の場合／新庄村の場合
- 3 酒屋仲間 五五三
- 醸造と流通／酒屋仲間／領主の米価政策

第二節 貨幣と金融

- 1 田辺領の判屋 五五三
- 貨幣制度／表領の銀札と田辺領の事情／判屋商家の隆替／判屋の業務
- 2 田辺金相場 五五四
- 錢貨の移動規制／田辺金相場／判屋業務の拡大
- 3 頼母子講それに質屋のこと 五六六
- 領主の政策／様々な頼母子講／質屋について

第八章 田辺領政の変貌

第一節 幕末期の政治構造

- 1 安藤家の大名化志向 五八〇
- 幕府に対する待遇改善運動／待遇改善運動に対する斉昭の妨害／
付家老の権力拡張
- 2 本藩の政争と安藤家 五八九
- 抗争の発端／藩主擁立派に対する処罰／治宝の死と藩主擁立派の反撃／
付家老の専権体制と直裕の失脚
- 3 田辺与力騒動 五九九
- 田辺与力の起源／騒動の発端／騒動の経過
- 4 海防の強化 六一〇
- 台場の設置／海岸防備と戦時対策
- 5 幕長戦争と安藤家 六一七
- 安藤直裕の復帰／安藤直裕の長州出陣／幕長戦争と領民の負担／
安藤勢の戦況と戦線離脱

第二節 幕末期の経済構造

六三六

1	物価問題	六三六
	領主当局の物価対策／開港以前／開港以後	
2	経済社会の諸相	六四七
	にぎわう料理屋／新興商人と職人の抑制／類似品・商標・商号権	

第三節 幕末期の社会構造

1	災害と救済	六五〇
	嘉永七年六月の地震／安政大地震と津波・火事／火災の発生／災害の状況／被害者の救済／義倉講	
2	差別の強化と民衆の動き——智海尼への宗教弾圧——	六五三
	差別の強化と宗門改め／被差別民衆の動き／智海尼への第一次宗教弾圧／智海等追放後の天変地異／智海尼への第二次宗教弾圧	
3	幕末の世相	六五四
	お札降り／唐船との接触／イギリス船との接触／安藤家中の移住／藩主との対面	

第九章 田辺藩の成立

第一節 田辺藩の職制と法制

1	鳥羽・伏見の戦いと田辺藩の成立	六九八
	大政奉還と紀州藩／紀州藩江戸屋敷の対応／鳥羽・伏見の戦いと紀州藩／旧幕府兵の紀州敗走と紀州藩	
2	田辺藩の職制	七〇八
	安藤家の大名昇格と紀州藩／和歌山常住藩士の田辺移住／田辺藩の職制	
3	田辺藩の法制	七二六
	田辺藩の刑法／「徒刑ノ法」の制定／「仮刑律」の制定／「徒刑人仮貸使用法」	
4	田辺藩札の発行	七三五
	維新时期前後の表領銀札／田辺藩札の発行／藩内通貨事情	
5	田辺藩から田辺県へ	七三五
第二節 教育・社会政策		
1	田辺の教育	七三六
	近世期の教育／田辺藩学校／剣術規則と舎則／学校規則の改正	
2	救恤政策	七四九
	貧院の設置／救恤施策	